

行政報告

湯沢町長村山隆征



平成16年度の観光客の入
り込み数については、総数
で583万2千人、対前年度比
89.6%、67万8千人の減とな
りました。

これは、中越震災によ
る観光客の出控えに加え、
依然として長引く不況によ
るものと考えております。

湯沢中里スキー場、パ
ー3ゴルフコース及び、土樽
スキー場が西武グループ経
営改革委員会の最終報告に
おいて、売却もしくは撤退
の対象とする旨の報告を受
け、湯沢町としては4月20
日に、行政、議会、関連業
界そして地元住民からなる
存続対策協議会を設立し、

株式会社コクドに対し運営
の継続を官民一体で要請す
ることといたしました。

尚、この協議会では、18
才以上の町内在住者を対象
に、各町内会のご協力を得
て署名活動を実施してまい
ります。

地域限定で規制緩和する
構造改革特区に、湯沢町全
域を区域として申請してお
りました「湯沢温泉どぶろ
く特区」の認定書の交付が
去る3月28日に内閣府にお
いて行われ、総理大臣より
受領いたしました。

そして、5月10日には製
造希望者向けの説明会を開
催し、民宿経営者ら20名の
参加がありました。今後は
製造法や申請手続きなど、
各個人で研究され製造され
ることとなりますが、湯沢
町の観光の新たな魅力づく
りになるものと期待いたし
ております。なお、このど
ぶろく製造をできる方は、
旅館、民宿もしくは飲食店
を営む者（米を生産している者）となります。

湯沢町歴史民俗資料館
「雪国館」が、6月3日に
リニューアルオープンいた
しました。今までの文化財
に「雪国・日本画14点」と
「川端康成の遺品7点」を
新たに加え、内容も充実し
たことから、今後も多くの
入場者の皆様に喜んでいた
だけるものと思えます。

昨年より「湯沢中学生徒
海外派遣事業」を実施いた
しておりますが、この度、
アメリカ合衆国、ユタ州ソ
ルトレーク郡「マグナ」の
皆さん11名（学生9名随
行者2名）が、6月6日に来
日され、日本語の研修や体
験学習など通じ国際交流を
深めております。

皆さんは、6月16日まで
滞在されますが、日本の文
化、湯沢の文化に接してい
ただく中で、楽しい交流の
場となりますことを期待し
ております。そして、今後
も相互理解を深めながら国
際交流の推進を図ってまい
りたいと思えます。

三俣地域振興策につきま
しては、地元三俣みらいま
ちづくり協議会、北陸地方
整備局、新潟県、そして湯
沢町の四者協議会において
協議を重ねてまいりました。
事業の制度や財政的な制
約の中で何ができるか整理
し、地域住民の合意形成と
早期事業化に向けて努力し
てまいります。

北陸新幹線の整備が、平
成26年度に完成
を目指すことが
正式に決定され、
上越新幹線の枝
線化といういわ
ゆる北陸新幹線
問題が、新たな
課題として浮上
してまいります。

新潟県や沿線
市町村そして関
係団体の総力を
結集し、健全な
地域経済の発展、
交流人口の拡大
に向けて、県境
を越えた利用促
進運動や施策の



雪国・日本画14点と
新たに川端康成の遺品
7点を展示した雪国館

展開に積極的に取り組んで
いくため、「上越新幹線活
性化同盟会」が、5月23日
に設立されました。